

東商野球部招待試合

～松山商硬式野球部との交流～



《高校同士の絆深める》

東海商業高等学校は、平成20年より修学旅行先を愛媛県松山市の「体験・交流プログラム」の企画提案をもとに、人や地域との交流を通じて得るさまざまな気づきを体験させ、自身の成長のための教育旅行として位置づけて実施してきました。7年目となる現在、修学旅行をきっかけに地元の高校である愛媛県立松山商業高等学校との間で、文化祭バザーによる特産品の交流や両校の硬式野球部やソフト部の交流試合開催にまで発展し、この度の「硬式野球部招待試合」となりました。

《これまでのご支援に感謝申し上げます》

招待試合実現に至るまでの間は、OB会を中心に、この「東海秋まつり」、「大田川駅前イルミネーション点灯式」、「東海フラワーショー」などへのバザー出店や野球部父母会、同窓会、PTA、地域の皆様等々からの多大なるご協力とご支援をいただき、実現することができました。

～ 本当に、心より感謝申し上げます ～

当日、松商野球部は午前4時に学校を出発。順調にバスは進み、休憩・食事時間等を含め、約8時間の道程の後、東海商業に正午に到着しました。遠路の来校でもあることから、最高の「おもてなし」で迎えるようOBや父兄の協力をいただき、正門前には看板を設置し多くの方々で歓迎することができました。天候にも恵まれセレモニーが開始。背番号付きの公式戦ユニホームに身を包み、『栄冠は君に輝く』に合わせ両チームの選手が入場行進。まさに夏の甲子園を見ているかのように感じさせられました。エール交換として選手同士の良き思い出になればと、両校の校章・校名入りの「スポーツタオル」を用意しました。さあ試合開始…投手を石濱校長（東商初代野球部主将）、捕手を重澤監督（松商野球部監督）との黄金バッテリーでプレイボール。2回の表、東商にエラーが生じ1点を先制されましたが、その後は緊迫した投手戦で一進一退の攻防が繰り広げられました。終盤7回、9回と東商満塁の場面は誰もがシビれたことと思います。スコアは1-0、松山商業の勝利ではありましたが、紛れもない好ゲーム、感動の一戦で終わることができました。どこかしら選手たちの表情も誇らしげでありました。

そのこともあってか、東商は、H27 秋季知多リーグ3位と健闘、県大会出場を果たしました。

《今後の両校硬式野球部との交流》

両校硬式野球部との交流は、今年度の招待試合を含め6回を数えます。7回目になる平成28年度は、松商の重澤監督の計らいで、既に8月1日（月）松山商業グラウンドでの開催が予定されています。

《 試 合 結 果 》

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
松商	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
東商	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

TOSHO BALLPARK

平成27年8月1日（土） 松山商業 1 × 0 東海商業（東海商G）

平成27年8月2日（日） 松山商業 6 × 3 大府高校（新日鐵住金G）

平成27年8月2日（日） 松山商業 5 × 6 浜松商業（新日鐵住金G）

※当初は中京大中京でしたが、甲子園出場となったため「浜松商業」にお願いしました。